

新委員会紹介

将来計画委員会

委員長 高木 都

平成10年(1998)に松尾理前委員長の下で設立された将来計画委員会の委員長に、この度選任されました。設立以来1委員として関わってきた立場と異なり、今度は委員長ということで、その責務の重要性をひしひしと感じております。生理学会の将来について積極的に提言することでその責務を果たしていきたいと考えております。何といたしましても生理学会の活性化が最重要課題であると考えております。そのために何をすべきか今までの将来計画委員会でも活発に話し合わせ、学術研究委員会の設置、若手の会の活動、男女共同参画推進委員会の設置を始めとして、さらに新しい執行機関の設置等の執行体制の在り方の検討などすでに多くの実績を松尾前委員長時代にあげてきました。今後は2009年の京都での国際生理学会(正式名:国際生理科学会議; IUPS)を一つの目標に(私の任期は2年ですが)さらに生理学会の活性化に向けて色々取り組みたいと考えております。委員は比較的若い方や、他の委員も兼ねておられる方も多く、また約半数は留任していただきましたので、今までの経験も継承しながら新任の委員の意見も取り入れつつ積極的に提言をしていきたいと考えております。生理学会の会員の皆さま、どうか身近の委員を通じて生理学会の将来について様々なご提案をしてくださるようお願い致します。

委員リスト〔敬称略〕

- | | |
|-------|------------------------------|
| 岡田 泰伸 | 岡崎国立共同研究機構生理学研究所 機能協関研究部門 |
| 久保 義弘 | 東京医科歯科大学大学院 機能協関システム医学(第二生理) |
| 小泉 周 | 慶應大学医学部生理 |
| 曾我部正博 | 名古屋大学医学部第二生理 |
| 本間 研一 | 北海道大学大学院医学研究科統合生理学 |
| 前田 信治 | 愛媛大学医学部第二生理 |
| 高木 都 | 奈良県立医科大学第二生理 |
| | —以上留任 |
| 彼末 一之 | 大阪大学医学部保健学科 基礎生体情報学 |
| 木村 純子 | 福島県立医科大学薬理学講座 |
| 黒澤美枝子 | 国際医療福祉大学生理 |
| 小西 真人 | 東京医科大学第一生理 |
| 渋谷まさと | 昭和大学医学部第二生理 |
| 清水壽一郎 | 岡山大学医学部第二生理 |
| 八尾 寛 | 東北大学大学院生命科学研究所 脳機能解析分野 |

—以上新任

JJP 編集委員会

委員長 野間昭典

ここ数年のJJPへの総投稿件数、外国からの投稿件数・割合とも高水準を維持しており、審査所要日数は僅かに短縮の傾向があり、却下率はほぼ横這いで、安定した状態にあります。引き続き、生理学会員にお願いすることは、出来るだけ先生方の論文を投稿していただきたいこと、また、論文の発表に際しては、JJP論文を引用していただきたいことです。

一つ、重要な問題点は日本生理学会会員によるJJP購読数の減少です。平成11年度より、975、945、917と年々明らかに減少しています。JJPの刊行についてはその収支の全てを(財)学会誌刊行センターが担っています。年度予算の約40%はこの購読料によっているのですから、この問題は重要です。生理学会会員特に評議員の先生方には全員ぜひJJPを購読していただきますようお願いいたします。

JJPを引き続きより良いものにするため、以下の方策が委員会で提言されました。経費の節減と審査の効率化を計るため、最終的には、編集プロセスを電子化することを目指して現在作業中ですが、とりあえず、既に、PDFファイルでの論文の受付をしています。ここ数年来懸案でした新たな編集協力者(Editorial Board Members)を加える件は、その作業を終えて、既にスタートしました。これらの方々には編集協力者としてJJPに

氏名を掲載すると同時に、論文審査に加わっていただいています。生理学会活性化に向けてJJPの対応について、アイデアを募集しています。現在のところ、生理学会のIUPS関連シンポジウム課題の中から、適当なものを選び、その領域の論文投稿を特に呼びかける。あるいは、JJPシンポジウムを行う。などの案があります。さらに会員からの提言をいただければ編集部で検討します。

委員リスト〔敬称略〕

- | | |
|--------|---------------------------|
| 大森 治紀 | 京都大学医学部第二生理 |
| 岡田 泰伸 | 岡崎国立共同研究機構生理学研究所 機能協関研究部門 |
| 葛西 道生 | 龍谷大学理工学部物質化学科 |
| 河原 克雅 | 北里大学医学部生理 |
| 黒島 晨汎 | 旭川医科大学医学部第一生理 |
| 小西 真人 | 東京医科大学第一生理 |
| 佐久間康夫 | 日本医科大学大学院システム生理学分野 |
| 佐藤 昭夫 | 昭和大学医学部第二生理 |
| 菅 弘之 | 国立循環器病センター研究所 |
| 高橋國太郎 | 明治薬科大学病態生理 |
| 西野 仁雄 | 名古屋市立大学医学部第二生理 |
| 本間 生夫 | 昭和大学医学部第二生理 |
| 野間 昭典 | 京都大学医学部第二生理 |
| (渡邊 万蔵 | Managing Editor) |

男女共同参画推進委員会

委員長 水村和枝

本委員会は生理学女性研究者の会（WPJ）の提案に基づき、本年度より会長の金子章道先生を含めた11名の委員〔別表〕で発足しました。WPJからの提案は女性研究者の研究環境改善を推進することを求めたものでしたが、常任幹事会における討論の結果、より広く男女均等の研究活動への参画を推し進める委員会として設置されました。すでにご承知のように、男女共同参画社会基本法・男女共同参画基本計画に基づいて、文部科学省関連でも科研費の審査委員や審議会委員など、女性の積極的参画が進められています。その様な動きの中で、生理学会内に女性研究者の研究環境改善を始めとした男女共同参画を推進するための委員会を設置することは意義あることと考えます。委員会の活動としては、まず委員の所属する大学・学部における状況、生理学会所属の女性研究者の状況を把握することから始めて、男女共同参画を実現する際の問題点を明らかにし、対処法の提案をしていきたいと考えています。また、生理学教育の中でいかに男女共同参画の考え方を広めるか、生理学研究参画への女性の意欲をいかにして高めるか、などの点についても討論し、提案して行きたいと考えています。今後、学会員皆様のご意見・ご要望をお寄せいただけるようお願いいたします。

委員リスト〔敬称略〕

岡田 泰伸	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所 機能協関部門
小田-望月紀子	大阪大学大学院・工学研究科・自由電子レーザー研究施設
金子 章道	慶応義塾大学医学部生理学教室（生理学会会長）
彼末 一之	大阪大学医学部保健学科基礎生体情報学講座
貴邑富久子	横浜市立大学医学部生理学第2教室
菅原 美子	帝京大学医学部生理学教室
鈴木 裕一	静岡県立大学食品栄養科学部生理学研究室
下山 恵美	千葉大学大学院医学研究院自律機能生理学教室
高木 都	奈良県立医科大学第2生理学教室
高松 研	東邦大学医学部第2生理学教室
水村 和枝	名古屋大学環境医学研究所神経性調節分野